

対象期間中に頭頸部がんの治療を受けた患者さんへ 【過去の治療に関するカルテデータの臨床研究への使用許可のお願い】

メディポリス国際陽子線治療センターでは「頭頸部がんの陽子線治療に伴う口腔粘膜炎に対するエピシル®口腔用液の使用成績」という臨床研究を行っております。エピシル®口腔用液（以下、エピシル）は2018年に日本での使用が認められた医療機器で、口腔粘膜炎（口内炎）の創傷上でゲル状の保護膜を形成して、物理的に痛みを軽減すると言われています。この研究は、陽子線が口腔内に当たることによって生じる口内炎に対するエピシルの効果を明らかにし、口腔ケアにおけるエピシルのより効果的な使用方法を見出すことを目的としています。そのために患者さんのカルテデータなどを使用させていただきます。

○ 研究期間

2026年1月22日（研究実施許可日）～2026年6月30日まで

○ 研究機関および施設長

メディポリス国際陽子線治療センター センター長 萩野 尚

○ 研究責任者

薬剤科 持留 隆伸

○ 臨床研究対象者

下記期間中に陽子線治療を受けた頭頸部がんの患者さんの中で、エピシルを使って口腔ケアを行った方

2018年8月30日～2025年10月31日まで

○ 利用する情報

患者さんのカルテデータ、口腔粘膜炎の重症度、患者さんが感じる口腔内の痛みの程度、体重、血液検査値のデータ、画像データ、治療計画データ

○ 個人情報の取扱い

使用するデータは、個人が特定されないよう匿名化を行い、個人情報に関しては研究責任者が厳重に管理します。臨床研究の成果は、学会や科学専門誌などの発表に使用される場合がありますが、名前など個人を特定するような情報が公表されることはない、個人情報は守られます。

もし、今回のデータ使用について同意をいただけない場合には、お手数ですが下記の問い合わせ先まで連絡ください。また、同意の有無が今後の治療などに影響することはありません。

【問い合わせ先】

メディポリス国際陽子線治療センター

T E L : 0993-23-5188(代) F A X : 0993-24-3450(代)

薬剤科 持留 隆伸

この臨床研究は、今後の医療の発展に資するものですので、ご理解ご協力の程、何卒、よろしくお願ひいたします。

